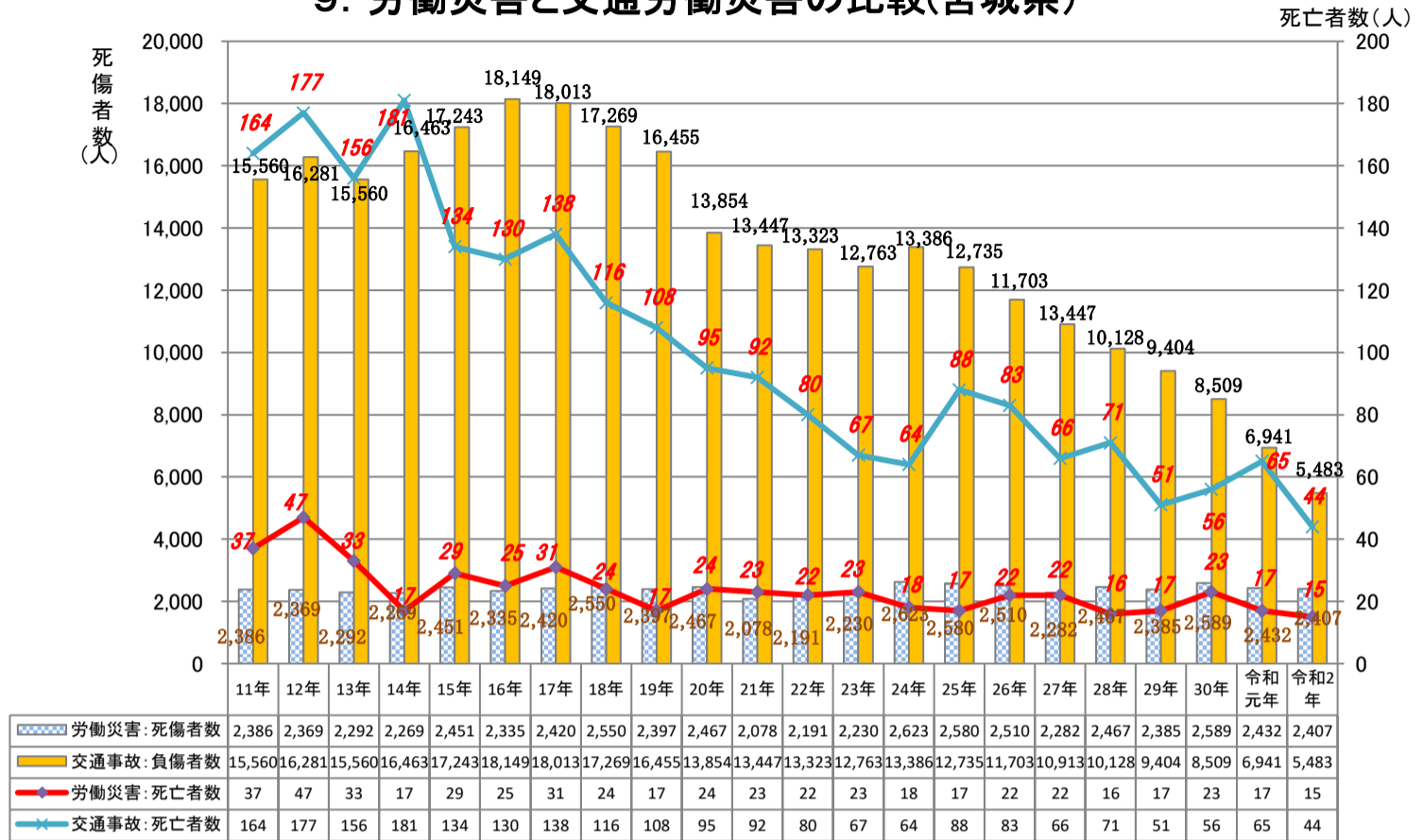


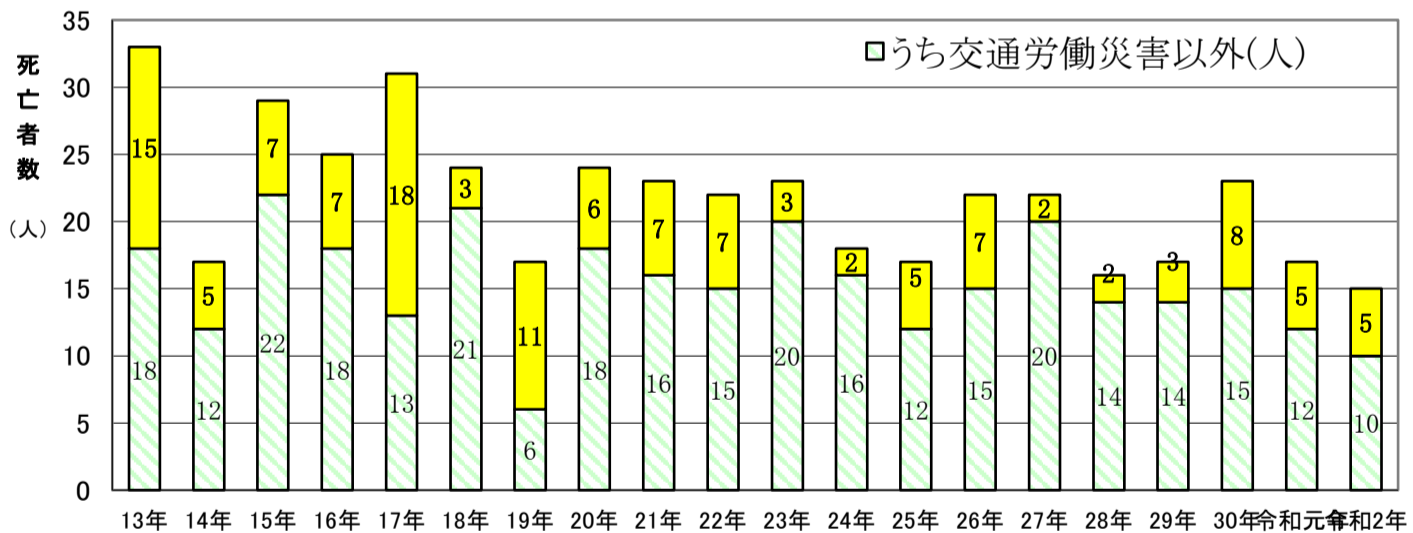
交通労働災害の発生状況

9. 労働災害と交通労働災害の比較(宮城県)



注:労働災害は、休業4日以上死傷者数で、宮城労働局労働基準部健康安全課調べ
交通事故は、宮城県警察本部交通企画課調べ

10. 死亡災害に含まれる交通死亡労働災害の推移



	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	令和2年
全産業死傷災害(人)	2,292	2,269	2,451	2,335	2,420	2,550	2,397	2,467	2,078	2,191	2,230	2,623	2,580	2,510	2,282	2,467	2,385	2,589	2,432	2,407
うち交通労働災害(人)	152	159	208	178	200	197	264	181	181	188	166	221	189	195	170	174	174	180	145	128
交通労働災害の割合[%]	6.6	7.0	8.5	7.6	8.3	7.7	11.0	7.3	8.7	8.6	7.4	8.4	7.3	7.8	7.4	7.1	7.3	7.0	6.0	5.3
全産業死亡災害(人)	33	17	29	25	31	24	17	24	23	22	23	18	17	22	22	16	17	23	17	15
うち交通死亡労働災害(人)	15	5	7	7	18	3	11	6	7	7	3	2	5	7	2	2	3	8	5	5
交通死亡労働災害の割合[%]	45.5	29.4	24.1	28.0	58.1	12.5	64.7	25.0	30.4	31.8	13.0	11.1	29.4	31.8	9.1	12.5	17.6	34.8	29.4	33.3

1. 交通労働災害は、平成19年をピークに減少しており、令和2年は128人と過去最少で、全産業死傷災害に占める割合も5.3%と低下した。
2. 一方、交通死亡労働災害は、増減を繰り返しており、令和2年は5人となり、全産業死亡災害の3分の1を占めた。